

（一部の最適から、**100年後の未来を一緒に話そう。**全体を持続的な最適へ）
おじいさん、おばあさんと

一つひとつは、**マイクロでみると善いことでも、全体として最適でない**ことがある。

国の事業に対する様々な要望を取ってみても、**選択が必要なのに、部分的な最適に引っ張られてしまい、全体の最適が考えられない**ことがある。

全体の**持続性**という視点から、何を見直したらよいか。

将来世代の声が軽視されているのは、全体最適が満たされていない一例。お年寄りと孫と一緒に100年後の話をするれば、**孫からの将来不安の気持ち**を聞いて、高齢者の狭い利益だけを語ってはいけないと気付く。
(⑩米良)

逆にお年寄りの声を聴いて、**若い世代が自分の部分最適に気づく**こともあるはず。(⑩山崎)

部分最適を超えて、**全体最適に目を向ける**には、**信頼感**が必要。そのためには、**話を十分に聞き、気持ちに寄り添う**ことで、**全体のことを理解**してもらわなければならない。(⑩山崎)



倒れないように…